

令和3年12月10日（金曜日）

全国高等学校文化連盟、読売新聞社主催  
「全国高等学校文芸コンクール」  
小説部門「優秀賞」受賞

## 伝わる文章 情景描写に力

小説

古舘穂乃香さん

（盛岡二二年）

受賞作「呈色スケッチ」は、けがで陸上部をやめ、時間を持て余していた主人公の女子高校生が、元々得意だった絵を描くことに夢中になっていく物語だ。周



りと比べて劣等感を抱いてしまうが、自分の意志で行動したいと悩む自分自身を重ね合わせた。

中学時代は吹奏楽部に所属していたが、同じパートの部員と比べなかなか上達できないことが悔しくて、高校では友人に勧められて文学研究部に入部。顧問の先生や先輩に「独りよがりな文章を書くな」と何度も

注意され、読み手に分かりやすい文章を意識するようになったという。

物語の最後に、主人公と陸上部の幼なじみがお互いの胸中を語り合う場面は、読者が自然に感情移入できるように情景描写に力を入れた。「今まで文章に自信がなかったが、小説を書いていく励みになった」と受賞に声を弾ませた。

（読売新聞）

この記事は読売新聞社の許諾を得て転載しています。

※ 読売新聞「岩手版」より抜粋。